

ほん・本・ブック (修練会)

公益財団法人豊島修練会 2017年1月27日号 (通算第17号)

子どものほん (子ども、小学生低学年)

ジリアン・ドハーティ作、テリ・ガウアー絵、荒木文枝訳「魔法の国 1001 のさがしもの」PHP 研究所
本体 780 円

魔法の国 (まほうのくに) をたんけんして、色々なものをさがす絵本です。ぜんぶで、1001 ものさがし物を見つけることができます。さがす場所は、「まほうの国のお城」「ひみつのとしょかん」「おかしなちょうりば」「まほうの国のえん会」「まほうどうぐのお店」「まほうの国の学校」「まほうの国のたたかい」と入り色で、楽しく読んで遊べます。



大人の本 (パパ&ママ、ジジ&ババなど)

鷲田清一著「大事なものは見えにくい」 角川ソフィア文庫 本体 743 円



確かにそうです。悪い面は目立ち、よく指摘されますが、良い面は認めてもらえませんが、だから、その辺をうまく立ち回る人が、大したことないのに大きく評価されることがあります。そんな思いの悶々と続いている人生の連続の中、本書の表題に目を引かれ購入した。

そんな深刻なものではなく、人間の長短のことではなく、物事の本質即ち大事なことは見えにくいという、哲学的、ものの見方・考え方、人間としての生き方・在り方に関するものでした。でも、ほっこりとする内容で、「まあいいか!」と心が軽くなりました。

どこからでも読むことができ、気の向いたときに、関心のある所を拾い読みして十分に堪能できます。「問い」人生の課題、納得など 9 編、II 「行い」遺憾だけはいかん、ブランド思考など 14 編、III 「間合い」届く言葉・届かない言葉、イメージと妄想など 12 編、IV 「違い」ひとを理解するということ、脇役など 7 編、V 「養い」昔の歯医者さん・今の歯医者さん、出納など 9 編、VI 「囲い」学校的な者、おごりおごられなど 10 編、VII 「佇まい」社会に隙間のあった時代、ざわめきの中に気品など 8 編、VIII 「迷い」夢占い、健康についてのへんな話など 14 編。

学校の先生のブック (小学校・中学校の先生)

川上徹也著「一言力 (ひとことりょく)」 幻冬舎新書 本体 800 円

本書は、一言でいえば、物事や考え方の「本質を短い言葉で表現する能力」を身に付けるにはどうしたらよいか著したもので、教師にとって、重要な能力であると思いを試してみたい。

授業の中で、「この文章の大事なことをまとめてみよう」「この考え方を短く言葉で表現しましょう」と、子供たちに要求する場面は少なくない。それでいて、教師自身が、どう表現したら良いものかあまいになり、悩む場面が実に多いものである。

詳しい内容とポイントは実際に読んでほしいが、キーワードをあげれば「要約力」「断言力」「発問力」「短答力」「命名力」「比喩力」「旗印力」だそうである。教師の「話し方」は重要なだけに、気になるキーワードである。

★備考★なお、話題提供のために本を紹介しているだけで、購読を勧めるものではありません。[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。



